



羽津っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~hazu/cms2/htdocs/>

全国学力・学習状況調査結果の概要について

本年度は4月17日に6年生において、国語科・算数科及び理科が実施されました。

この度、調査結果が届きましたので、本校の結果の概要をお知らせします。

【本校の結果と分析】

1 各教科の全国平均との比較（平均正答率を比較）

- ☐ 国語科A問題（知識）は、全国平均をやや上回る結果となりました。
- ☐ 国語科B問題（活用）は、全国平均を大きく上回る結果となりました。
- ☐ 算数科A問題（知識）は、全国平均をやや上回る結果となりました。
- ☐ 算数科B問題（活用）は、全国平均を大きく上回る結果となりました。
- ☐ 理科は、全国平均をやや上回る結果となりました。



2 強みと弱み（問題別の主な結果を以下に示します）

【○；全国平均を大きく上回った問題。●；正答率が低い、または全国平均を下回った問題】

<算数科>

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を数直線上に表す。(A1-2)
- 小数の除法の意味（A問題 設問2）
学校通信No. 5で紹介させていただいた「 $12 \div 0.8$ の式で求められる問題」
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味（A4-②）
「座っているシートのこみ具合を調べる式の意味を選ぶ問題」
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる。(A-9)
- 直径の長さや円周の長さの関係について理解している（A-7）
- 図形の構成要素や性質を基に考える図形の問題（B-1） ○ 数と計算問題（B-3, 4）



<国語科>

- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。(A2)
- 人物の心情について、情景描写を基に捉える。（A4）
- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。（A5）
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。（A8）
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。（B2-②）
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。（B3-①）



<理科>

○調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析する。（設問1-②）

●骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。（設問1-③）

●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる。（設問1-④）

○回路を流れる電流の向きと大きさに関する問題。（設問3-③）



3 指導の工夫・改善（児童質問紙・学校質問紙とかかわって）

☞本校児童の算数科の弱みとして、小数の除法及び割合の問題に対する苦手意識があるものと考えられます。授業においてきめ細かな丁寧な指導を続けていきたいと思います。

一方、数直線を活用した指導が定着してきており、一定の成果が出ているものと捉えています。今後も問題文をしっかりと理解し数直線や図に表すなどの指導を繰り返したいと思います。また、「算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか？」に対して本校児童92.9%（全国85.8%）となっています。

これは本校児童の強みとなっています。引き続きノート指導を徹底したいと考えます。

☞国語科の弱みとしては、文脈を意識し、主語と述語に注意して詳しい文章を書くことに対する苦手意識があるものと考えます。書く活動に意図的に取り組みたいと思います。

一方、文章の読み取りや漢字の書き取りについては一定の成果が出ているものと捉えています。ぐんぐんタイムをさらに充実して基礎・基本の定着に努めてまいります。

☞理科においては、出題領域によって正答状況が異なっています。ただ児童質問紙における「理科の勉強は好きですか？」において本校児童78.6%（全国83.5%）とやや低い状況にあるため、単元への導入の仕方や興味関心を高める教材提示、実験観察などの体験活動の充実が求められるものと考えています。

4 家庭学習（児童質問紙・学校質問紙とかかわって）

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか？」；75.5%（全国67.6%）

「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか？」；48%（全国62.6%）

「家で、学校の宿題をしていますか？」；99%（全国97.1%）

☞本校児童は、家庭学習の内容が主に「宿題をすること」になっている状況です。今後は予習や復習などさらなる主体的な学習（自主学习ノート等）の充実が求められます。

<保護者の皆様へ>

家庭学習は学習内容の定着のみならず、基本的な生活・学習習慣につながります。全学年でお子さんへの励まし、声かけをよろしくお願い致します。

本校では、「日々の授業を大切にする」ということで、「授業のねらいや目標を明示すると共に授業終末には、まとめ・振り返りを書く」授業に取り組んでいます。

学力調査は、子どもたちの学力を把握する一つの側面です。今回の調査結果に一喜一憂することなく、腰を据えた取組を今後も続けていきます。

皆様のご理解とご支援を引き続きよろしくお願い致します。

